

広瀬川日帰りミステリーツアー記録

コース 名取・広瀬・筑川合流点 宮沢緑地公園、愛宕堰 評定河原 大橋 鳳鳴四十八滝
大倉ダム 仙台市水道記念館

参加者 21名

協力 仙台市カヌー協会

名取・広瀬・筑川合流点

筑川の護岸や遊水地について、委員と参加者で意見のやり取りを行う。また、藩政時代に伊達政宗公が広瀬川を舟運に利用したことや古墳、地名などの歴史について説明。

宮沢緑地公園、愛宕堰

仙台市カヌー協会の協力によりカヌー体験を行う。ほとんどの参加者がカヌーに乗るのがはじめてで、最初は「乗りません。」といていた参加者も、楽しそうにカヌーを漕いでいる様子を見てか、最終的にはほとんどの参加者がカヌーを体験した。

愛宕堰も見学し、農業用水のことや堰の利用と諸問題について説明。

評定河原 大橋

チョウゲンボウが棲息しているという自然崖を観察する。この自然崖は仙台と広瀬川を象徴する場所であり、歴史を学ぶ上で重要な場所であることの説明。ここから川沿いに徒歩で移動し、大橋下流左岸、銭形不動から対岸を眺める。ここからは青葉山が仰ぎ見ることができ、広瀬川の瀬音を聞くこともできる。仙台を代表するビューポイントでもある。

鳳鳴四十八滝

大小の滝が連なり、下流から滝を眺めると、その背景には鎌倉山がそびえ非常に美しい景観である。国道48号線沿いにあるが、参加者の多くがはじめて訪れたということだった。

大倉ダム

仙台市の水がめの一つ大倉ダムは雪解け水を豊富に蓄え、大規模な放水を行っていた。ダムの真下の公園は桜が満開で、ダムの放水と相まって非常に美しい景観を醸しだしていた。最後に桜とダムの放水をバックに記念撮影を行った。

仙台市水道記念館

大倉ダム同様、仙台市の水がめのひとつである青下水源地に隣接する水道記念館では、水道の仕組みや水道の歩みについての展示を見学した。

参加者の感想

・広瀬川には周りの人たちよりも興味を持っているつもりでしたが、想像以上に奥深い豊かな川なのだとは再認識した次第です。今回の場所を知人にも教えてあげたいと思いました。

・仙台にいても私のように広瀬川を知らない人が沢山いらっしゃるのではと思います。何らかの形で広瀬川ツアーが今後有料で開催できれば、理解して参加して下さる人がいるのではと思います。

・ツアーメンバーの熟年パワーを感じて大変嬉しく思います。自然を愛することと人生を深めること、そして生活を豊かにすることに気付かされ、私にとって大変意義があり、楽しい一日でした。

・特定非営利活動法という枠組みができたのですから、当面は市民に目を向けさせ、意識付けを図る活動をして層の厚さを増して欲しい。そして、目標に向かって時間をかけ(根気よく)できることから(問題を整理して)実施してください。

・以前、鳳鳴滝周辺はゴミだらけだったが、今回はきれいになっていて大変うれしい。

・無学の私にも今回の企画で得た知識の宝は大切にくり返しくり返し育み、家族に大いなる土産が出来た事を嬉しく思います。

・広瀬川の水で産湯を使って育ったつもりで今日までいたのに、今回の企画でいっぺんにその思いが吹っ飛んでしまいました。仙台人として広瀬川を知ることは仙台人の資格を与えられたようなものです。

・不自由な体で参加が不安でしたが、皆様のご親切を頂き楽しい一日でした。このような企画が今後も生かされるように動きたいと思います。

・参加の当日まではあまり期待をしていませんでしたが、広瀬川の魅力ある多くの姿と、広瀬川に関わっておられる多くの方々を見聞きするに至り、スタートまでに抱いていた気持ちは一変いたしました。素晴らしい企画に参加させて頂いたことに感謝すると共に、市民の財産「広瀬川」を勉強し、広瀬川の為に自分に出来る何かを探し出したいと率直に感じております。

* 参加者は「広瀬川への手紙」に応募して下さった方で、「広瀬川市民フォーラム」において公開抽選を行って選ばれました。